

議会在が厳しくチェック!

一般・特別会計決算委員会と企業会計決算委員会にて、活発な質疑が行われました。(詳しい内容は、6ページから8ページをご覧ください。)

市の財政を身近に感じていただくため、市の決算を家計に例えてみました。

富士市さん家の家計簿

富士市議会は決算を重視しています!

富士市議会は9月定例会前から決算審査に向けた活動をしています。ことしのスケジュールは下記のとおりです。(事業評価結果は、11ページをごらんください。)

月	定例会の流れ	決算における事業評価
6月	6月定例会 17日 開会 補正予算や条例などの議案を審議します。	
7月	2日 閉会 5日 各決算委員会協議会で評価対象事業を選ぶ 市が行う事業から、議会在が課題等を感じる事業を選びます。一般・特別会計決算委員会では5事業、企業会計決算委員会では1事業を選びました。	
8月	補正予算や条例などの議案を審議する前に、前年度決算の認定を扱う点がほかの定例会と異なります。	9日 選んだ事業の決算資料を担当課から受け取る 議員は、資料を参考に事業の課題や改善策について検討を始めます。 27日 各決算委員会協議会で選んだ事業の説明を担当課から聞く 議員は、資料ではわからない点について担当課に質疑をし、選んだ事業の内容や効果について理解を深めます。
9月	9月定例会 10日 開会 19日 一般・特別会計決算委員会協議会 25日 企業会計決算委員会協議会 評価決定	議会在として、事業の評価と今後の取り組み方を決定します。
10月	9日 閉会 9日 議会在が決定した事業評価を市長に提出	

収入(入ったお金) 36万7千円

項目	説明	家計(円)
給料	市税や地方交付税など	230,000
パート収入	施設使用料や各種手数料、寄附金、分担金、負担金、諸収入	25,000
株、預貯金の利子	財産収入	1,000
前月の剰余金	繰越金	11,000
親からの援助	国県から交付される使い道の決められたお金(国県支出金)	73,000
家の増改築の借り入れ	複数年にわたる大きな施設整備のために国などから借りるお金(市債)	24,000

※一般会計の決算額を日本人の平均年収441万円(国税庁の民間給与実態調査より)の家計におきかえて、12カ月で割り、1カ月分を計算しています。
※千円未満切り捨てのため、合計額は一致しません。

支出(使ったお金) 35万6千円

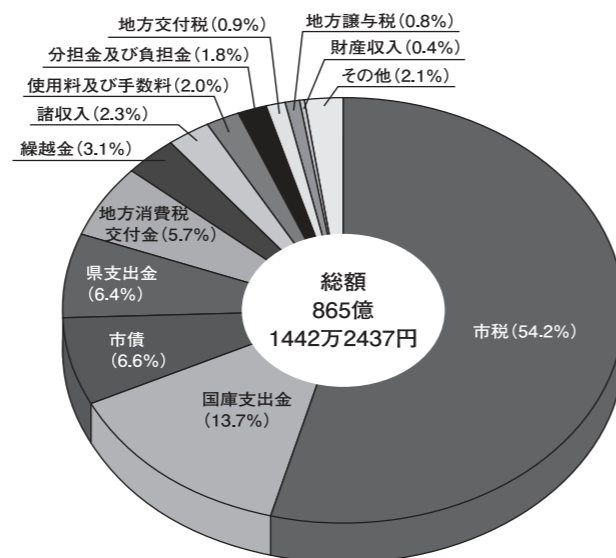
項目	説明	家計(円)
食費	給料など人件費	58,000
医療費等	医療費・生活保護費など扶助費	76,000
ローン返済	公債費	27,000
家の増改築家財購入	福祉施設・教育施設・道路・公園の整備などの投資的な経費	57,000
光熱水費日用品等	施設管理の物件費・維持補修費	72,000
子どもへの仕送り	特別会計・企業会計への繰出金、補助費等	61,000
貯金	積立金(基金)等	2,000

医療費や施設整備・管理にかかるお金が多いことがわかります。

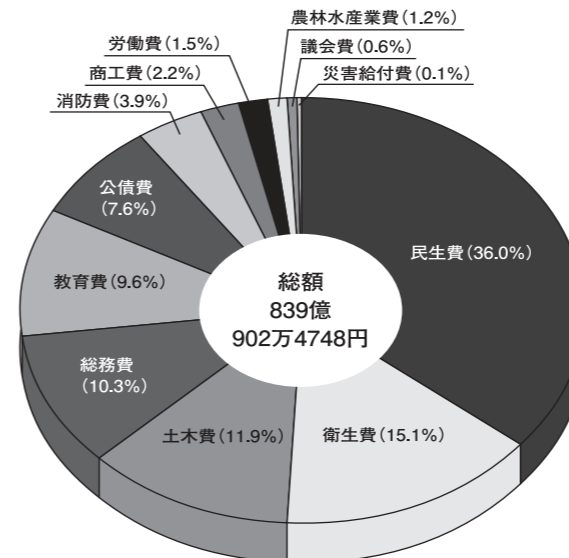
平成30年度各会計決算を認定

9月定例会において、平成30年度の一般・特別会計及び企業会計、合わせて20会計の決算が認定されました。

一般会計・歳入款別内訳



一般会計・歳出款別内訳



【特別会計】

歳入534億1575万9368円
歳出522億1159万5327円
(国民健康保険事業ほか15会計)

【企業会計】

水道事業
事業収益 36億2055万9357円
事業費用 29億9700万1758円

公共下水道事業
事業収益 62億4260万9773円
事業費用 50億6666万2912円

病院事業
事業収益 145億8522万1897円
事業費用 146億8466万9446円

来年2月ごろ
議会事業評価を反映した
新年度予算案を市長が提出